

23春闘 申9号 2023年度賃金引き上げ等に関する申し入れ

第1回交渉開催！！

【組合の主な主張】

- 昨年は「鉄道開業150周年」「会社発足35年」の年だった。国鉄改革を経て、黒字基調を実現し、コロナ禍においても、収益を確保し経営を支えてきたのは組合員・社員である。
- 2023年3月期第3四半期連結決算では、コロナ禍からの回復で運輸事業が増収になった事などから2期連続の増収、各損益も3期ぶりに黒字転換した。
- 組合員・社員の実態・生活環境は厳しさを増している。賃金の上昇が物価高に追いついていない。
- 「変革のスピードアップ」のもとに示される各種施策により、労働密度が高められ疲労度が増している。
- 組合員・社員の現実と家族の現実を直視し、生活向上、魅力と期待の持てるJR東日本グループを実現するため、組合員・社員を第一とした経営姿勢で要求満額の回答を強く求める。

【会社の特徴的な基本スタンス】

- 基準内賃金は、長期にわたり総額人件費に多大なる影響を及ぼすことから、足元の状況を踏まえつつ、中長期的な動向も勘案して慎重な判断が必要である。
- 当社の基本給については「職責」「職能」「資格等級」「生計費水準」等の様々な要素を勘案して決定していくことになる。
- 国内の消費者物価指数は、前年同期比で4%上昇している。しかし、企業物価指数はこれを上回る10%程度の上昇となる。
- コロナ感染症の分類を5類に移行するという方針で、社会経済の正常化が見込まれるなど明るい状況といえることはあるが、中長期的に見れば、コロナ前の水準には戻らないという認識に変わりはない。
- 仕事を通じた達成感、充実感、労働条件向上といった働きがいの創出と、社員・家族の幸福の実現と好循環につなげるべく、スピード感を持って構造改革を進めていく。

私たちの現実を訴え、要求満額回答を獲得するために
職場からたたかいをつくり出そう！！

